

## 「あなたは、何色を選びますか」 2月号 ～「こころの扉」を少し開いてみませんか～

あるショッピングセンターへ立ち寄ったとき、ランドセルコーナーが目に入りました。今は、どんなランドセルが流行っているのか興味本位にのぞいてみました。展示コーナーを見て、ランドセルの色の多さに驚かされました。私の子どもの頃はランドセルの色といえば、赤と黒の2色だったと記憶しています。

以前、このランドセルの色について、ある母親がネットに次のような悩み相談を書き込んでいました。「来年度、小学校に入学する長男にランドセルの色を尋ねると『絶対、赤がいい』と言います。本人が欲しいものが1番ですが、友達に『赤いランドセルなんて女だ!』とからかわれ、しよげている姿が頭をよぎってしまいます。自由に選ばせるか悩んでいます」

皆さんが、この子の母親だったらどうしますか？

母親が「赤いランドセルは女の子だよ、男の子だったら黒よ」と押しつけてしまうと、子どもの意識の中に「赤い色は女の子」という「決めつけ」が刷り込まれてしまいます。子どもたちは、生活を通していろいろな知識を得ていく中で、さまざまな価値観を身に付けていきます。私たちの意識の中には、いろいろな固定観念があります。固定観念を生じさせる原因の一つに思い込みや決めつけがあります。私たちは、無意識のうちに子どもに偏った価値観を伝える仲立ちをしているかも知れません。子どもたちに偏った価値観を伝えないためにも、大人ができることは「ふつう、こうだ」「こうあるべき」といった「決めつけ」や「押しつけ」をしないよう心がけることで

す。  
4月には、色とりどりのランドセルを背負った個性あふれる新1年生が入学してきます。

